au

AQUOS *SERIE* mini

SHV31

取扱説明書

・本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
・免責事項については、『ご利用にあたっての注意事項』をご参照ください。

2015年1月第1版
TINSJB108AFZZ

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金・操作方法について（通話料無料）
受付時間　9:00～20:00（年中無休）

一般電話からは	au電話からは
0077-7-111	局番なしの157番

Pressing “zero” will connect you to an operator, after calling “157” on your au cellphone.

紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて（通話料無料）
受付時間　24時間（年中無休）

一般電話からは	au電話からは
0077-7-113	局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。（無料）
0120-977-033（沖縄を除く地域）
0120-977-699（沖縄）

安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について（通話料無料）
受付時間　9:00～21:00（年中無休）
一般電話／au電話から
0120-925-919

VEGETABLE OIL INK

モバイル・リサイクル・ネットワーク

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わずマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

やめましょう、歩きスマホ。

発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：シャープ株式会社

ごあいさつ

このたびは、「AQUOS SERIE mini SHV31」(以下、「SHV31」または「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に本体付属の『取扱説明書』『ご利用にあたっての注意事項』『設定ガイド』またはauホームページより『取扱説明書 詳細版』をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。本体付属の『取扱説明書』『ご利用にあたっての注意事項』『設定ガイド』を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

操作説明について

■『取扱説明書』『設定ガイド』

主な機能の主な操作のみ説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、本体内で利用できる『取扱説明書アプリケーション』やauホームページより『取扱説明書 詳細版』をご参照ください。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/

■『取扱説明書アプリケーション』

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書アプリケーション』を利用できます。
また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。
ホーム画面に「アプリシート」を表示→[取扱説明書]

- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードして、インストールする必要があります。

■ For Those Requiring an English Instruction Manual
英語版の取扱説明書が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual, Notes on Usage and Setting Guide from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書(英語版)』『ご利用にあたっての注意事項(英語版)』『設定ガイド(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。
Download URL: http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/
Also, you can use the "Instruction Manual application" (English version) on the product to check operational procedures (available from approximately one month after the product is released).
また、本製品では、本体内で操作方法を確認できる『取扱説明書アプリケーション(英語版)』を利用できます(発売約1ヶ月後から)。
On the home screen, "Apps Sheet" → [Basic Manual].

- To use the application for the first time, you need to download and install it by following on-screen instructions.

安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、『ご利用にあたっての注意事項』をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair

本製品をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、LTE／WiMAX 2+／GSM／UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。)
- 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
- 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、各ネットワークサービスは地域やサービス内容によって異なります。
  詳しくは、『取扱説明書アプリケーション』や『取扱説明書 詳細版』の「auのネットワークサービス・海外利用」をご参照ください。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。

- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』『ご利用にあたっての注意事項』『設定ガイド』または『取扱説明書 詳細版』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 使う場所や声の大きさに気をつけて！

- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まっての通話や操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。

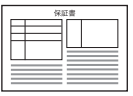
■ 周りの人への配慮も大切！

- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、次の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

本体



保証書

- 取扱説明書
- ご利用にあたっての注意事項
- 設定ガイド

以下のものは同梱されていません。

- microSDメモリカード
- ACアダプタ
- イヤホン
- microUSBケーブル

- 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。
- 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

◎ 電池は本製品に内蔵されています。

au災害対策アプリを利用する

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報）、災害用音声お届けサービスおよび、災害情報を利用できるアプリです。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[au災害対策]

au災害対策メニューが表示されます。
利用規約画面や初期設定画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

■ 災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がLTE NET上から自己の安否情報を登録することが可能になるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方のほか、他通信事業者の携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。
詳しくは、auホームページの「災害用伝言板サービス」をご参照ください。

1 au災害対策メニュー→[災害用伝言板]

画面に従って、登録／確認を行ってください。

◎ 安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス（～ezweb.ne.jp）が必要です。あらかじめ、Eメールアドレスを設定しておいてください。
◎ 無線LAN（Wi-Fi®）接続中は、削除および安否お知らせメールの設定変更はご利用いただけません。
◎ 当社は、本サービスの品質を保証するものではありません。本サービスへのアクセスの集中や設備障害に伴う安否情報の登録にかかわる不具合、安否情報の破損、滅失などによる損害または登録された安否情報に起因する損害につきましては原因の如何によらず、一切の責任を負いかねます点、ご了解のうえご利用ください。

■ 緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。

- お買い上げ時は、緊急速報メール（緊急地震速報および災害・避難情報）の受信設定は「受信する」に設定されています。津波警報の受信設定は、災害・避難情報の設定にてご利用いただけます。
  緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。
  津波警報を受信した時は、直ちに海岸から離れ、高台や頑丈な高いビルなど安全な場所に避難してください。

1 au災害対策メニュー→[緊急速報メール]

受信ボックスが表示されます。
確認したいメールを選択するとメールの詳細を確認できます。

削除	受信したメールを削除します。
設定	**緊急地震速報** 緊急地震速報を受信するかどうかを設定します。 **災害・避難情報** 災害・避難情報および津波警報を受信するかどうかを設定します。 **音量** 受信音の音量を設定します。 **バイブ** 受信時にバイブレータを振動させるかどうかを設定します。 **マナー時の鳴動** マナーモード設定中に受信したとき、鳴動するかどうかを設定します。 **緊急地震速報** 緊急地震速報の受信音やバイブレータの振動を確認します。 **災害・避難情報** 災害・避難情報および津波警報の受信音やバイブレータの振動を確認します。

◎ 日本国内のみのサービスです（海外ではご利用になれません）。
◎ 緊急速報メールは、情報料・通信料とも無料です。
◎ 緊急速報メールを通話中に受信した場合は、警報音が鳴りません。
◎ 電源を切っているときは、緊急速報メールを受信できません。
◎ サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル、地下など）や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
◎ 受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。

◎ 緊急速報メール受信時は、専用の警報音とバイブレータの振動で通知します。警報音は変更できません。
※緊急地震速報の場合は、警報音と音声(「地震です」)、バイブレータの振動で通知します。
◎ お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。
◎ 当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
◎ 気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/

緊急地震速報について

◎ 緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ(震度4以上)が予測される地域をお知らせするものです。
◎ 地震の発生直後に、震源近くで地震(P波、初期微動)をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる数秒～数十秒前に、可能な限り素早くお知らせします。
◎ 震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
◎ テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。

津波警報について

◎ 津波警報とは、気象庁から配信される大津波警報・津波警報を、対象沿岸を含む地域へお知らせするものです。

災害・避難情報について

◎ 災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報をお知らせするものです。

■ 災害用音声お届けサービスを利用する

災害用音声お届けサービスとは、大規模災害時にスマートフォンで音声を録音し、安否を届けたい方へ音声メッセージとしてお届けするサービスです。

1 au災害対策メニュー→[災害用音声お届けサービス]
画面に従って操作してください。

◎ Wi-Fi®でのご利用には4G(LTE／WiMAX 2+)ネットワークにて初期設定が必要になります。
◎ 音声メッセージは最大30秒の録音が可能です。
◎ au電話間、および他社携帯電話・PHSと相互にやりとり可能です。
◎ メディアの音量を小さくしている場合、音声を聞き取れない場合があります。
◎ 本体メモリに空き容量がない場合は、音声メッセージが保存・再生できない場合があります。
◎ 音声メッセージの受信に対応していない端末があります。詳しくはauホームページをご覧ください。

■ 災害情報を利用する

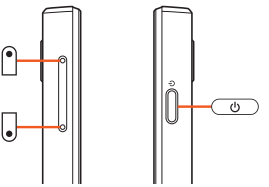
自治体が配信した災害・避難情報の履歴や、災害情報ポータルなどを確認できます。

1 au災害対策メニュー→[災害情報]
確認したい項目を選択してください。

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。



■項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記	意味
ホーム画面に「アプリシート」を表示→［電話］→「141」を入力→［発信］	Feel UXホーム画面をスライド／フリックしてアプリシートに切り替え、次に「電話」をタップします。続けて「1」「4」「1」の順にタップして、最後に「発信」をタップします。
（2秒以上長押し）	を2秒以上長押しします。

※タップとは、ディスプレイに表示されているキーやアイコンを指で軽くたたいて選択する動作です。

■掲載されているイラスト・画面表示について

本書に記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。

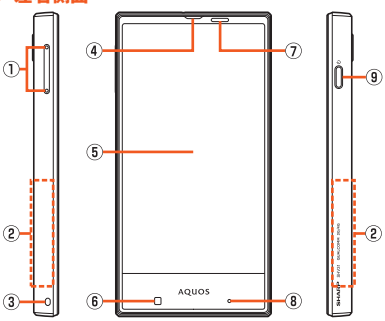
実際の画面

本書の表記例

◎ 本書では本体カラー「マゼンタ」の表示を例に説明しています。あらかじめご了承ください。
◎ 本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどが異なる場合があります。
◎ 本書ではFeel UXホームでの操作を基準に記載しています。「ホーム切替」などでホームアプリを切り替えた場合は、操作が異なるときがあります。
◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
◎ 本書では「microSD™メモリカード（市販品）」「microSDHC™メモリカード（市販品）」および「microSDXC™メモリカード（市販品）」の名称を「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
◎ 本書に表記されている金額は特に記載のある場合を除きすべて税抜です。

各部の名称と機能

■正面／左右側面



① **音量UP／DOWNキー**
音量を調節します。
ウェルカムシート（ロック画面）で を長押しすると、モバイルライトが点灯します。
ホーム画面、ウェルカムシート（ロック画面）で を長押しすると、マナーモードの設定／解除を切り替えられます。

② **グリップセンサー**
本製品を持つ（両側のセンサー部に同時に触れる）ことで画面を点灯したり、着信中やアラーム鳴動中に音量を最小にしてバイブレータを振動させたり、バイブレータで着信や通知をお知らせしたりすることができます。
• センサー部から手を離しても、画面はすぐには消灯しません。

③ **ストラップ取付口**

④ **受話口（レシーバー）**

⑤ **ディスプレイ（タッチパネル）**

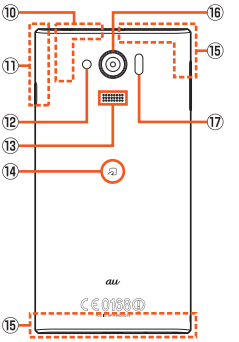
⑥ **インカメラ（レンズ部）**

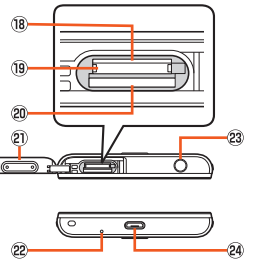
⑦ **近接センサー／光センサー**
近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。
光センサーは周囲の明るさに合わせて、ディスプレイの明るさを調整します。

⑧ **充電／着信ランプ**

⑨ **電源キー**
画面を点灯／消灯します。
長押しすると、電源ON／OFFやマナーモードの設定などができます。

■ 背面／上下側面





⑩ **テレビアンテナ**

⑪ **Wi-Fi®／Bluetooth®／GPSアンテナ**

⑫ **モバイルライト**

⑬ **スピーカー**

⑭ **マーク**
おサイフケータイ®やNFC機能利用時にこのマークをリーダー／ライターにかざしてください。

⑮ **内蔵アンテナ**

⑯ **アウトカメラ（レンズ部）**

⑰ **赤外線ポート**

⑱ **IMEIトレイ**
本製品のIMEIを確認できます。

⑲ **au Nano IC Card 04トレイスロット**

⑳ **microSDメモリカードスロット**

㉑ **au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバー**

㉒ **送話口（マイク）**
通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。使用中はマイクを指などでおおわないようにご注意ください。

㉓ **イヤホンマイク端子**

㉔ **外部接続端子**
共通ACアダプタ05（別売）やmicroUSBケーブル01（別売）などを接続すると、接続機器の磁気が地磁気センサーに影響し、アプリケーションによっては正常に動作しないことがあります。ケーブル類を外してご使用ください。

◎ 本製品の背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
◎ 本製品の電池は内蔵されており、お客様による取り外しはできません。強制的に電源を切る場合は、「強制的に電源を切る」（▶P. 12）をご参照ください。

グリップセンサーについて

◎ 次の場合はグリップセンサーが正しく動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 手袋をしたままでの操作
- 本製品にケースやカバーなどを装着したままでの操作※
- 本製品が濡れたままでの操作
- 金属製のものがグリップセンサーに触れたままでの操作
- グリップセンサーを「ON」に設定している状態でケースやカバーを着脱したとき

※ケースやカバーによっては、装着したまま使用できるものもあります。本製品にケースやカバーを装着した後、「カバー装着設定」を「カバーあり」に設定してください。

テレビアンテナ、内蔵アンテナ、Wi-Fi®／Bluetooth®／GPSアンテナについて

◎ アンテナは本製品に内蔵されています。通話中や通信中はアンテナを手でおおわないでください。また、アンテナにシールなどを貼らないでください。通話／通信品質が悪くなることがあります。

IMEIトレイについて

◎ IMEI（端末識別番号）は端末1台ずつに割り当てられた固有の識別番号です。IMEIトレイを引き出して本製品のIMEIを確認できます。

◎ IMEIは修理依頼やアフターサービスなどで必要な情報です。

◎ IMEIトレイを本体から取り外すことはできません。無理な力がかからないよう取り扱いにはご注意ください。

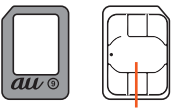
◎ 本製品を操作してIMEIを確認することもできます。
ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[端末情報]→[端末の状態]と操作して、IMEI欄を確認

au Nano IC Card 04を利用する

au Nano IC Card 04について

au Nano IC Card 04にはお客様の電話番号などが記録されています。
本製品はau Nano IC Card 04にのみ対応しております。au Nano IC Card 04以外のICカードはご利用できません。

au Nano IC Card 04



IC（金属）部分

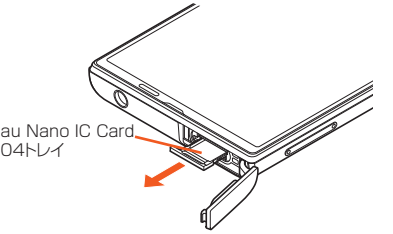
◎ au Nano IC Card 04着脱時は、必ず共通ACアダプタ05（別売）などのmicroUSBプラグを本製品から抜いてください。

au Nano IC Card 04を取り付ける

au Nano IC Card 04の取り付けは、本製品の電源を切り、microSDメモリカードを取り外してから行います。

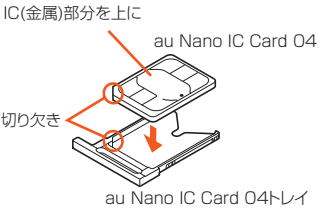
1 au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーを開ける

2 au Nano IC Card 04トレイに指をかけ、まっすぐにゆっくりと引き出す



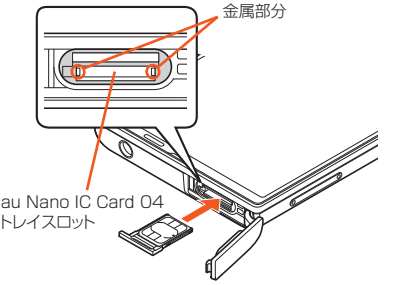
3 au Nano IC Card 04トレイにau Nano IC Card 04を装着する

au Nano IC Card 04とau Nano IC Card 04トレイの切り欠き方向に注意して、ゆっくりと装着してください。



4 au Nano IC Card 04トレイスロットの両側の金属部分に引っ掛からないように注意して、au Nano IC Card 04トレイをau Nano IC Card 04トレイスロットにゆっくり差し込む

au Nano IC Card 04トレイスロットの位置をよく確認し、au Nano IC Card 04トレイの向きに注意して、矢印の方向に奥まで差し込んでください。無理に差し込もうとすると、au Nano IC Card 04トレイが破損する場合があります。



5 au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーを閉じる

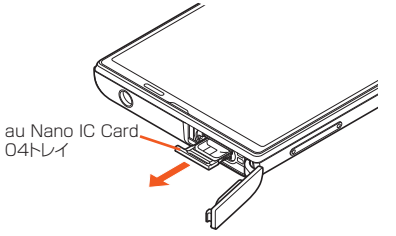
◎ au Nano IC Card 04トレイの差し込みが不十分な場合は、正常に動作しないことがあります。
◎ 取り外したau Nano IC Card 04トレイは紛失・破損しないようにご注意ください。

au Nano IC Card 04を取り外す

au Nano IC Card 04の取り外しは、本製品の電源を切り、microSDメモリカードを取り外してから行います。

1 au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーを開ける

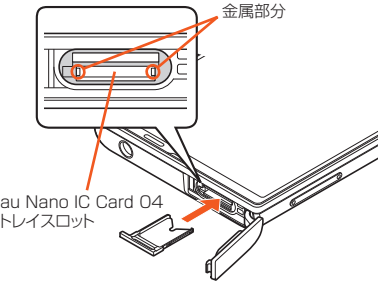
2 au Nano IC Card 04トレイに指をかけ、まっすぐにゆっくりと引き出す



3 au Nano IC Card 04トレイからau Nano IC Card 04を取り外す

4 au Nano IC Card 04トレイスロットの両側の金属部分に引っ掛からないように注意して、au Nano IC Card 04トレイをau Nano IC Card 04トレイスロットにゆっくり差し込む

au Nano IC Card 04トレイスロットの位置をよく確認し、au Nano IC Card 04トレイの向きに注意して、矢印の方向に奥まで差し込んでください。無理に差し込もうとすると、au Nano IC Card 04トレイが破損する場合があります。



5 au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーを閉じる

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカードを取り付ける

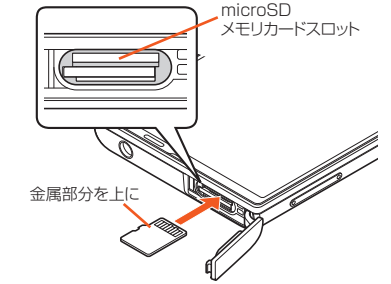
microSDメモリカードの取り付けは、本製品の電源を切ってから行います。

1 au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーを開ける

2 microSDメモリカードをmicroSDメモリカードスロットにゆっくり差し込む

挿入方向を確認し、カチッと音がしてロックされるまで矢印の方向に差し込んでください。

また、ロックされる前に指を離すとmicroSDメモリカードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。



3 au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーを閉じる

◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。

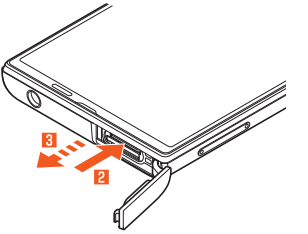
microSDメモリカードを取り外す

microSDメモリカードの取り外しは、本製品の電源を切ってから行います。

1 au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーを開ける

2 microSDメモリカードを奥へゆっくり押し込む

カチッと音がしたら、microSDメモリカードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。



3 microSDメモリカードをまっすぐにゆっくりと引き抜く

4 au Nano IC Card 04／microSDメモリカードカバーを閉じる

◎ microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

充電する

充電について

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

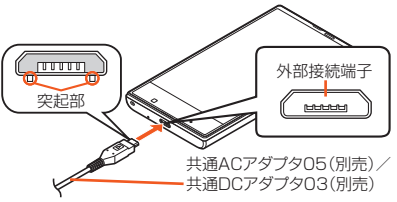
- 充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合は内蔵電池の寿命の可能性があります。ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[端末情報]→[端末の状態]→[電池の状態]と操作すると、内蔵電池の充電能力を確認できます。
- 充電中は充電／着信ランプが赤色に点灯し、電池マークに ϟ が重なって表示されます。約95%まで充電されると充電／着信ランプが緑色に点灯します。充電が完了すると、充電／着信ランプが消灯します。

◎ 操作方法や使用環境によっては、本製品の内部温度が高くなり、熱くなることがあります。その際、安全のため充電が停止することがあります。
◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間が長くなる場合があります。
◎ 指定の充電用機器（別売）を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと、内蔵電池の寿命が短くなります。
◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電／着信ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。
◎ 充電／着信ランプが赤色に点滅したときは、強制的に電源を切り（▶P.12）、電源を入れ直してください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
◎ 充電中、充電／着信ランプがまだ点灯しているときに充電をやめると、▭が表示されていても充電が十分にできていない場合があります。その場合は、ご利用可能時間が短くなります。

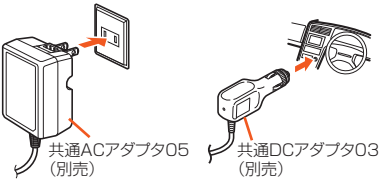
指定のACアダプタ（別売）／指定のDCアダプタ（別売）を使って充電する

共通ACアダプタ05（別売）／共通DCアダプタ03（別売）を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ（別売）／指定のDCアダプタ（別売）について詳しくは、「周辺機器のご紹介」（▶P.16）をご参照ください。

1 本製品の外部接続端子に共通ACアダプタ05（別売）／共通DCアダプタ03（別売）のmicroUSBプラグを、向きを確認して矢印の方向に差し込む



2 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む／共通DCアダプタ03(別売)のプラグをシガーライタソケットに差し込む



3 充電が終わったら、本製品の外部接続端子から共通ACアダプタ05(別売)／共通DCアダプタ03(別売)のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜く

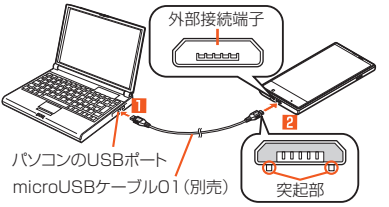
4 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをコンセントから抜く／共通DCアダプタ03(別売)のプラグをシガーライタソケットから抜く

◎ 本製品の電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。

パソコンを使って充電する

本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

1 パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル01(別売)をパソコンのUSBポートに接続



2 microUSBケーブル01(別売)を本製品に接続

◎ USB充電を行った場合、指定のACアダプタ(別売)での充電と比べて時間が長くかかる場合があります。
◎ 本製品の外部接続端子にmicroUSBプラグを差し込む場合は、突起部を下にしてまっすぐに差し込んでください。microUSBプラグを誤った向きに差し込むと、本製品の外部接続端子が破損することがあります。
◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電／着信ランプが点灯しない場合があります。その場合は、指定のACアダプタ(別売)を使用して充電してください。

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

1 電源が切れた状態で(電源キー)(2秒以上長押し)

◎ 電源を入れてから「AQUOS」の表示が終了するまでの間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

■ 電源を切る

1 (電源)(2秒以上長押し)

2 [電源を切る]→[OK]

■ 再起動する

本製品の電源をいったん切り、再度起動します。

1 (電源)(2秒以上長押し)

2 [再起動]→[OK]

■ 強制的に電源を切る

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切ることができます。

1 (電源)(8秒以上長押し)
バイブレータが振動した後、手を離すと電源が切れます。

◎ 強制的に電源を切ると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

■ セーフモードで起動する

本製品の電源をいったん切り、お買い上げ時に近い状態で起動します。
本製品の動作が不安定になった場合、お買い上げ後にインストールしたアプリケーションが原因の可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合、インストールしたアプリケーションをアンインストールすると症状が改善されることがあります。

1 (電源)(2秒以上長押し)

2 「電源を切る」をロングタッチ→[OK]
セーフモードで起動すると、画面下部に「セーフモード」と表示されます。
セーフモードを終了するには再起動してください。

◎ 電源が切れているときは、(電源)(2秒以上長押し)で電源を入れ、auロゴの表示が消えてからウェルカムシート(ロック画面)が表示されるまで音量(下)を押し続けると、セーフモードで起動することができます。
◎ セーフモードで起動する前に本製品のデータをバックアップすることをおすすめします。
◎ お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
◎ セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合はセーフモードを終了してください。

画面点灯／消灯について

(電源)を押すか、一定時間操作しないと画面が消灯します。

■ 画面を点灯する

1 画面消灯中に(電源)

◎ ポケットやかばんなどに入れる際は、画面を消灯してください。画面を点灯させたまま入れると、誤動作の原因となります。

ウェルカムシート(ロック画面)について

画面を点灯するとウェルカムシート(ロック画面)が表示されます。

《ウェルカムシート(ロック画面)》

「(ホーム)」を画面下部にスライドするとロックが解除されます。
「(ホーム)」をタップ、ロングタッチ、または上方向にスライドすると「機能紹介」や「ウェルカムシート設定」、ショートカットが表示されます。

① **壁紙**
② **所有者情報**
タップすると、「ロックとセキュリティ」の「所有者情報」の設定に沿ってテキストを表示します。
③ **インフォエリア**
左右にフリックすると、エモバーからの情報、天気、株価情報、ウィジェットに切り替えます。

Feel UXホームを利用する

Feel UXホームはデスクトップシート、アプリシート、ドックで構成されたホーム画面です。
デスクトップシートではウィジェット／ショートカット、アプリシートではアイコンをタップすると機能を利用できます。ドックにはお気に入りアプリのショートカットを登録することができます。
- ホーム画面を左右にスライド／フリックすることで、デスクトップシート／アプリシートを切り替えることができます。

シートの切り替えイメージ

《デスクトップシート》　《アプリシート》

■ Feel UXホームの見かた

① **ステータスバー**
② **デスクトップシート／アプリシート**
③ **ドック**
アプリケーションのショートカットを登録して、すばやく起動させることができます。
④ **ナビゲーションバー**
⑤ **ガイドタブ**
デスクトップシート／アプリシートを切り替えたときに、シート名を表示します。
⑥ **ページインジケータ**
デスクトップシート／アプリシートの現在の表示位置を表示します。

◎ デスクトップシート／アプリシートを上下にスライド／フリックすると、ページを切り替えることができます。
◎ ナビゲーションバーを上にスライドすると、🔍が表示されます。「🔍」までドラッグし、指を離すとアシスト機能に対応したアプリ一覧が表示されます。アプリケーションを選択すると起動することができます。
また、「📄」「📄」までドラッグし、指を離すと画面縮小モードを利用できます。

■ ホーム画面をアレンジする

1 ホーム画面→[▤]→[ホーム設定]

ステータスバーを利用する

アイコンについて

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせするお知らせアイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■主なお知らせアイコン

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着Eメールあり
	新着SMSあり
	新着PCメールあり
	新着Gmail™あり
	発信中、通話中、着信中
	auのVoLTE対応機種と高音質通話中
	保留中
	伝言メモあり
	本体メモリの空き容量低下
	本体メモリ／microSDメモリカード読み込み中
	利用可能なアップデートあり
	アプリケーションのインストール完了
	ソフトウェア更新情報あり
	まとめられたアイコンあり

◎ アイコンによっては件数が重なって表示されます。

■主なステータスアイコン

アイコン	概要
12:34	時刻
～	電池レベル状態 ～ :残量表示 :残量なし • 充電中は電池マークに が重なって表示されます。 • 電池マークの左に電池残量が%で表示されます。
	機内モード設定中
～	電波の強さ(受信電界) ～ :レベル表示 :圏外 • ネットワークを示すアイコンが左上に表示されます。 :LTE／WiMAX 2+使用可能※ :ローミング中 • 通信中は が重なって表示されます。
	マナーモード状態 :通常マナー :ドライブマナー :サイレントマナー
	ハンズフリーで通話中
	通話中のマイクを「消音」に設定中
	伝言メモ設定中 :伝言メモなし :伝言メモあり(1～9件) :伝言メモが10件

※「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況等に応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

お知らせ／ステータスパネルを利用する

お知らせ／ステータスパネルでは、お知らせアイコンやステータスアイコンの確認や対応するアプリケーションの起動ができます。
また、マナーモードやのぞき見ブロックなどを設定できます。

1 ステータスバーを下にスライド

■お知らせ／ステータスパネルの見かた

《お知らせ／ステータスパネル》

① **機能ボタン**
よく使う機能の設定をワンタッチで切り替えることができます。

② **機能ボタン表示／非表示**
タップすると2行目以降の機能ボタンを表示／非表示することができます。

③ **ミュージックコントローラ**
LISMOで音楽を再生することができます。

④ **お知らせ**
本製品の状態やお知らせの内容を確認できます。情報によっては、ピンチアウト／ピンチインで通知を拡大／縮小したり、通知や機能をタップして対応するアプリケーションを起動したりできます。
・通知を左右にフリックすると削除できます。ただし、通知によっては削除できない場合もあります。

⑤ **カスタマイズ**
表示する機能ボタンを変更したり並べ替えたりできます。

⑥ **設定**
タップすると本製品について、各種設定を行います。

⑦ **全通知消去**
タップすると通知がすべて消去されます。ただし、通知によっては削除できない場合もあります。

⑧ **閉じる**
上にスライドするとお知らせ／ステータスパネルを非表示にします。

ソフトウェアキーボードを切り替える

1 文字入力画面→[ ]→[入力方式]→[QWERTYキーボード]／[12キーボード]

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[プロフィール]

マナーモードを設定する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[サウンド]→[マナーモード設定]

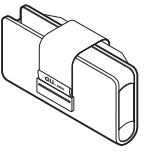
2 モードを選択

機内モードを設定する

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[その他]→[機内モード]

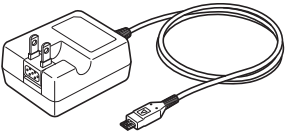
周辺機器のご紹介

■ **auキャリングケースFブラック(0105FCA)(別売)**
auキャリングケースGブラック(0106FCA)(別売)
auキャリングケースHブラック(0107FCA)(別売)



auキャリングケースFブラック

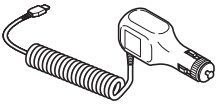
■ **共通ACアダプタ03(0301PQA)(別売)**
共通ACアダプタ05(0501PWA)(別売)
共通ACアダプタ03 ネイビー(0301PBA)(別売)
共通ACアダプタ03 グリーン(0301PGA)(別売)
共通ACアダプタ03 ピンク(0301PPA)(別売)
共通ACアダプタ03 ブルー(0301PLA)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(ホワイト)(L02P001W)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(レッド)(L02P001R)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(ブルー)(L02P001L)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(ピンク)(L02P001P)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(シャンパンゴールド)(L02P001N)(別売)



共通ACアダプタ05

・お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。

■ **共通DCアダプタ03(0301PEA)(別売)**



■ **ポータブル充電器02(0301PFA)(別売)**
■ **microUSBケーブル01(0301HVA)(別売)**
microUSBケーブル01 ネイビー(0301HBA)(別売)
microUSBケーブル01 グリーン(0301HGA)(別売)
microUSBケーブル01 ピンク(0301HPA)(別売)
microUSBケーブル01 ブルー(0301HLA)(別売)

◎ 最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ(http://www.au.kddi.com/)にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。
◎ 本製品は、ASYNC／FAX通信は非対応です。
◎ 上記の周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。在庫状況によってはご購入いただけない場合があります。
http://auonlineshop.kddi.com/

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください
電池を利用できる時間が短い	• (圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？(▶P.14) • 内蔵電池が寿命となっていませんか？電池の状態を確認してください。(▶P.10) • 十分に充電されていますか？(▶P.10) • 使用していない機能を停止してください。(▶P.14)

こんなときは	ご確認ください
電話がかけられない	• au Nano IC Card 04が挿入されていますか？（▶P.7） • 「機内モード」が設定されていませんか？（▶P.15） • 電源は入っていますか？（▶P.11）
電話がかかってこない	• 電波は十分に届いていますか？（▶P.14） • サービスエリア外にいませんか？（▶P.14） • 「機内モード」が設定されていませんか？（▶P.15） • 電源は入っていますか？（▶P.11） • au Nano IC Card 04が挿入されていますか？（▶P.7）
相手の方の声が聞こえない	• 受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。
microSDメモリカードを認識しない／目的のデータが見つからない	• microSDメモリカードは正しく取り付けられていますか？（▶P.9） • 本体メモリにデータを保存していませんか？microSDメモリカード以外に本体メモリにもデータを保存できます。
キー／タッチパネルの操作ができない	• 電源を切り、電源を入れ直してみてください。 • 電源は入っていますか？（▶P.11）
充電ができない	• 指定の充電用機器（別売）の電源プラグがコンセントまたはシガーライタソケットに確実に差し込まれていますか？（▶P.10）
電源が入らない	• 内蔵電池は充電されていますか？（▶P.10） • (⏻)を長押ししていますか？（▶P.11）
操作できない／画面が動かない／電源が切れない	• (⏻)を8秒以上長押しし、バイブレータが振動した後、手を離すと強制的に電源を切ることができます。しばらくしてから電源を入れ直してください。（▶P.12）
タッチパネルで意図した通りに操作できない	• 手袋などをしたままで操作していませんか？ • 爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか？ • 再起動してください。（▶P.12）
画面をタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い	• 本製品に大量のデータが保存されているときや、本体メモリとmicroSDメモリカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
au ICカード（UIM）のエラーや挿入されていない旨のメッセージが表示される	• au Nano IC Card 04が挿入されていますか？（▶P.7）
電源が勝手に切れる	• 電池が切れていませんか？（▶P.10）
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	• 電池が切れていませんか？（▶P.10）
(圏外)が表示される	• 電波は十分に届いていますか？（▶P.14） • サービスエリア外にいませんか？（▶P.14） • 内蔵アンテナ付近を手でおおっていませんか？（▶P.6） • au Nano IC Card 04が挿入されていますか？（▶P.7）
ディスプレイ、充電／着信ランプは点灯、点滅するが着信音が鳴らない	• マナーモードに設定されていませんか？（▶P.15）
充電してくださいなどと表示された	• 電池残量がほとんどありません。（▶P.10）
電話が勝手に応答する	• マナーモードが設定されていませんか？（▶P.15）
電話をかけたときに受話口から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	• 電波は十分に届いていますか？（▶P.14） • サービスエリア外にいませんか？（▶P.14） • 無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauのホームページ、auお客さまサポートでご案内しております。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair

ソフトウェアを更新する

本製品は、ソフトウェア更新に対応しています。

また、OSアップデートも、ソフトウェア更新の機能を利用して行うことが可能です。OSアップデートとは、本製品のOSのバージョンアップを含むソフトウェア更新です。

1 ホーム画面に「アプリシート」を表示→[設定]→[端末情報]→[ソフトウェア更新]

初回起動時にはプライバシーポリシーの確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「OK」をタップしてください。

2

ソフトウェア更新	ソフトウェア更新が必要かどうかを確認します。「はい」をタップすると確認を開始します。ソフトウェア更新が必要な場合は、ソフトウェア更新用データをダウンロードすることができます。
自動問い合わせ設定	ソフトウェア更新用データの有無を定期的に確認するかどうかを設定します。

■ ご利用上の注意

- パケット通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生します。Wi-Fi®でのご利用をおすすめします。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター（157／通話料無料）までお問い合わせください。また、SHV31をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なSHV31をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新を実行すると、更新前と更新後に本製品を再起動します。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit（一部ショップを除く）にお持ちください。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェアを更新しても、本製品に登録された各種データ（電話帳、メール、静止画、音楽データなど）や設定情報は変更されません。ただし、本製品の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェアが更新された後で、自動的に次の更新用ソフトウェアのダウンロードが開始される場合があります（連続更新）。
- 国際ローミング中は、Wi-Fi®接続時にのみ、ソフトウェア更新の機能を利用できます。Wi-Fi®に接続していない状態では、ソフトウェア更新の機能を利用することはできませんので、ソフトウェア更新を行う場合はWi-Fi®に接続してご利用ください。
- OSアップデートを行うと、以前のバージョンへ戻すことはできません。

ソフトウェア更新実行中は、次のことは行わないでください

- ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。

ソフトウェア更新実行中にできない操作について

- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）、157番（お客さまセンター）へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるとき

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている≪無償修理規定≫に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

■ 補修用性能部品について

当社はこのSHV31本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■ 安心ケータイサポートプラスLTEについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラスLTE」をご用意しています（月額380円、税抜）。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
◎ au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスLTEの加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」・「安心ケータイサポートプラスLTE」は自動的に退会となります。
◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au Nano IC Card 04について

au Nano IC Card 04は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■ アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客さまセンター（紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて）
一般電話からは　0077-7-113（通話料無料）
au電話からは　局番なしの113（通話料無料）
受付時間　24時間（年中無休）

安心ケータイサポートセンター（紛失・盗難・故障について）
一般電話／au電話からは
0120-925-919（通話料無料）
受付時間　9:00～21:00（年中無休）

オンライン修理受付（24時間受付）
※パソコン、スマートフォンからのみ受付可能
https://cs.kddi.com/support/n_login.html

- インターネット受付でのお申し込みは、「破損」「水濡れ」「盗難」「紛失」の場合が対象となります。自然故障（破損、水濡れなどの原因ではないが電源が入らない、画面が動かないなど）の場合は、問診が必要なためお電話での受付となります。
- インターネットでのお申し込みには、メールアドレスが必要です。

■ auアフターサービスの内容について

サービス内容	安心ケータイサポートプラスLTE会員	安心ケータイサポートプラスLTE非会員
交換用携帯電話機お届けサービス（自然故障：1年目）	無料	補償なし
交換用携帯電話機お届けサービス（自然故障：2年目以降）	お客様負担額 1回目：5,000円 2回目：8,000円	補償なし
交換用携帯電話機お届けサービス（部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失）	お客様負担額 1回目：5,000円 2回目：8,000円	補償なし
預かり修理（自然故障：1年目）	無料	無料
預かり修理（自然故障：2年目以降）	無料（3年保証）	実費負担
預かり修理（部分破損）	お客様負担額 上限5,000円	実費負担

サービス内容	安心ケータイ サポートプラスLTE 会員	安心ケータイ サポートプラスLTE 非会員
預かり修理（水濡れ、全損）	お客様負担額 10,000円	実費負担
預かり修理（盗難、紛失）	補償なし	補償なし（機種変更対応）

※金額はすべて税抜

交換用携帯電話機お届けサービス

◎ au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機（同一機種・同一色）をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。

◎ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。

※詳細はauホームページでご確認ください。

預かり修理

◎ お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は割引の対象となりません。

主な仕様

ディスプレイ	約4.5インチ、約1,677万色、IGZO、1,080×1,920（FHD）
質量	約118g（内蔵電池含む）
サイズ（幅×高さ×厚さ）	約63mm×124mm×9.9mm（最厚部約10.6mm）
メモリ（内蔵）	ROM：約16GB RAM：約2GB
連続通話時間（国内）	約1,040分
連続通話時間（海外（GSM））	約650分
連続待受時間（国内）	約540時間
連続待受時間（海外（GSM））	約600時間
連続テザリング時間	約440分
Wi-Fi®テザリング最大接続数	10台
充電時間	共通ACアダプタ05（別売）使用時：約100分 共通DCアダプタ03（別売）使用時：約260分
連続ワンセグ視聴時間※1	約8時間00分
撮影素子	**アウトカメラ** CMOSイメージセンサー **インカメラ** CMOSイメージセンサー
有効画素数	**アウトカメラ** 約1,310万画素 **インカメラ** 約120万画素
Bluetooth®機能	通信方式：Bluetooth®標準規格Ver.4.0 出力：Bluetooth®標準規格Power Class1 通信距離※2：見通しの良い状態で10m以内 対応Bluetooth®プロファイル※3：HSP、HFP、A2DP、AVRCP、OPP、SPP、PBAP※4、HID、PAN、PAN NAP、PANU、aptX®、SCMS-T、HOGP※5、DUN※6 使用周波数帯：2.4GHz帯
ネットワーク環境	無線LAN（Wi-Fi®）機能：IEEE802.11a/b/g/n（2.4GHz／5GHz）/ac※7準拠
インターフェース	microUSB端子、3.5φ（4極）イヤホンマイク端子（対応イヤホン：3極ヘッドホン（Lch／Rch／GND）、4極マイク付きイヤホン（Lch／Rch／GND／MIC））

※1 使用条件により連続ワンセグ視聴時間は変わります。

※2 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。

※3 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※4 電話帳データの内容によっては、相手側の機器で正しく表示されない場合があります。
※5 Bluetooth®標準規格Ver.4.0に対応したプロファイルとなります。
※6 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。
※7 Wi-Fi CERTIFIED™ acに対応。対応商品については各メーカーのホームページでご確認ください。

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種【SHV31】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.521W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は0.508W/kg(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ:
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
○ 一般社団法人電波産業会のホームページ:
http://www.arib-emf.org/index02.html
○ シャープのホームページ:
http://www.sharp.co.jp/products/menu/phone/cellular/sar/index.html
○ auのホームページ:
http://www.au.kddi.com/

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 この値は同時送信の値です。

CE Declaration of Conformity

CE0168 !

In some countries/regions including Europe, there are restrictions on the use of 5GHz WLAN that may limit the use to indoors only.
If you intend to use 5GHz WLAN on the device, check the local laws and regulations beforehand.

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that this SHV31 is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
A copy of the original declaration of conformity can be found at the following Internet address:
http://www.sharp.co.jp/k-tai/

Mobile Light

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes.
Be especially careful not to shoot small children from a very close distance. Do not use Mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

AC Adapter

Any AC adapter used with this handset must be suitably approved with a 5Vdc SELV output which meets limited power source requirements as specified in EN/IEC 60950-1 clause 2.5.

Battery - CAUTION

Use specified Charger only.
Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

The battery is embedded inside the product. Avoid removing the embedded battery since this may cause overheating or bursting.

Do not dispose of the product with ordinary refuse. Take the product to an au Shop, or follow the local disposal regulations.

Charge battery in ambient temperatures between 5°C and 35°C; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

Volume Level Caution

To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Headphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 115 mV.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.657 W/kg※ and when worn on the body is 0.620 W/kg※.
For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 1.5 cm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.
As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.
The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

※ The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

5 GHz WLAN Operation in USA

Within the 5.15-5.25 GHz band, UNII devices are restricted to indoor operations to reduce any potential for harmful interference to co-channel Mobile Satellite Services (MSS) operations.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

Highest SAR value:

Model	SHV31
FCC ID	APYHRO00214
At the Ear	0.79 W/kg
On the Body	0.84 W/kg

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found at http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/ under the Display Grant section after searching on the corresponding FCC ID (see table above).

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at http://www.fcc.gov/encyclopedia/radio-frequency-safety.